

☆ 時①・条件をあらわす副詞節②の中では、未来のことも現在形であらわす。

- ① { 『時』をあらわす接続詞 … when ～ 『～するとき』
after ～ 『～したあとで』
before ～ 『～する前に』
till, until ～ 『～まで(ずっと)』
while ～ 『～する間に』 など
- ② { 『条件』をあらわす接続詞 … if ～ 『もし～ならば』

- ② { 副詞 … 動詞を修飾する働き
節 … 主語 + 動詞があるひとかたまりの部分

《時をあらわす副詞節》の例↓ (… 彼がここに来るのは未来のことだが、現在形であらわしている)

『彼がここに来たとき、私たちはサッカーをします。』

→ When he comes here, we'll play soccer.

《条件をあらわす副詞節》の例↓ (… ひまなのかどうかは明日のことだが、現在形であらわしている)

『もしあなたが明日ひまなら、私に電話してください。』

→ If you're free tomorrow, please call me.

※ なぜ、上記のように、未来のことを現在形であらわすのか、その理由ははっきりしませんが、if ～ 『もし～ならば』、when ～ 『～するとき』などの語が、もともと未来の内容を含んでいるので、未来表現を二度くり返す必要はないから、と考えるとわかりやすいでしょう。